

SWCCグループ

2022年3月期 第1四半期  
スモールミーティング



Creating for the Future

昭和電線ホールディングス（株）  
（東証1部：5805）

Aug 31, 2021

<https://www.swcc.co.jp>



# 本日の説明項目

1. 2022/3期 第1四半期報告

2. 通期業績計画

3. 中期経営計画  
「Change SWCC2022」進捗  
今後の展開について

Appendix



昭和電線ホールディングス（株）  
（東証1部：5805）

<https://www.swcc.co.jp>



Creating for the Future

昭和電線ホールディングス（株）  
（東証1部：5805）

2022/3期 第1四半期報告

<https://www.swcc.co.jp>

# 2022/3期 第1四半期決算総括

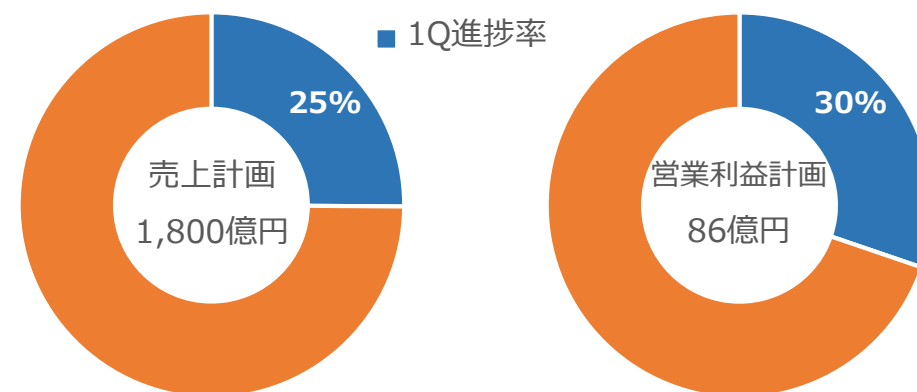
**業績：コロナ禍での緊急事態宣言下ではあったものの、売上高は回復基調  
前期1Q比較では大幅な増収・増益となり、利益面はコロナ禍前に回復**

- ・ **エネルギー・インフラ事業**：建設関連向け需要は前期4Qからの減少が見られたが、電力インフラ向け需要は堅調に推移。
- ・ **通信・産業用デバイス事業**：通信インフラ向けは前期4Qに引き続き、5G需要等により堅調に推移し、産業用デバイスも中国を中心に堅調に推移。
- ・ **電装・コンポーネンツ事業**：前期4Qに引き続き、自動車向け高機能製品の需要は好調を維持。

## 7月21日の発表内容について：

7月21日付けで「当社グループ製品の品質試験に関する不整合の判明と特別調査委員会の設置について」をお知らせしております。  
本件による業績への影響につきましては、現時点では不明ですが、業績予想に修正が必要な場合には改めて開示いたします。

## 1Q進捗率（売上高/営業利益）



# 1Q 連結損益計算書

- ・ 想定どおり業績は堅調に推移し、大幅な増収増益。

(単位：億円)	2019年度 1Q実績	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	構成 %	前年同期比 %
売上高	430	338	452	—	33.6%
売上総利益	54	41	61	13.5%	49.2%
営業利益	17	6	26	5.7%	312.4%
経常利益	15	6	26	5.8%	360.3%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	11	4	17	3.8%	329.9%

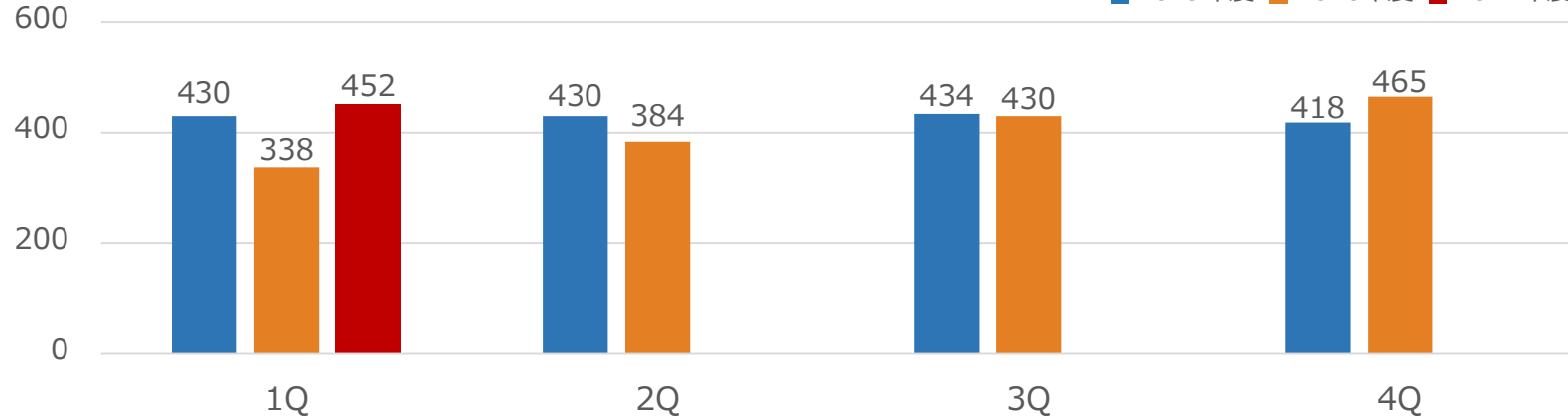
※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年度第1四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

# 四半期業績推移（過去3期比較）

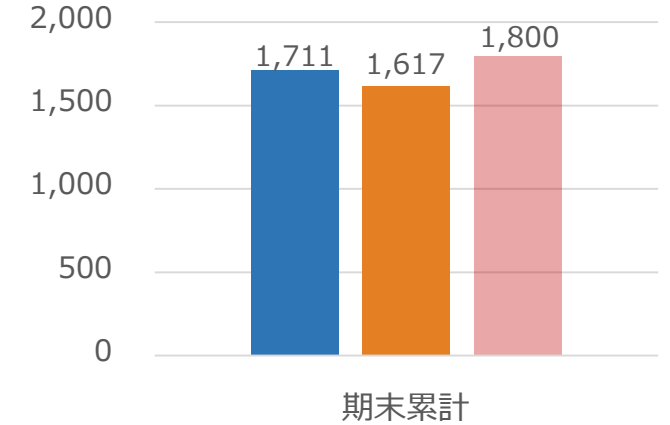
(単位：億円)

## 四半期毎の売上高推移

■ 2019年度 ■ 2020年度 ■ 2021年度



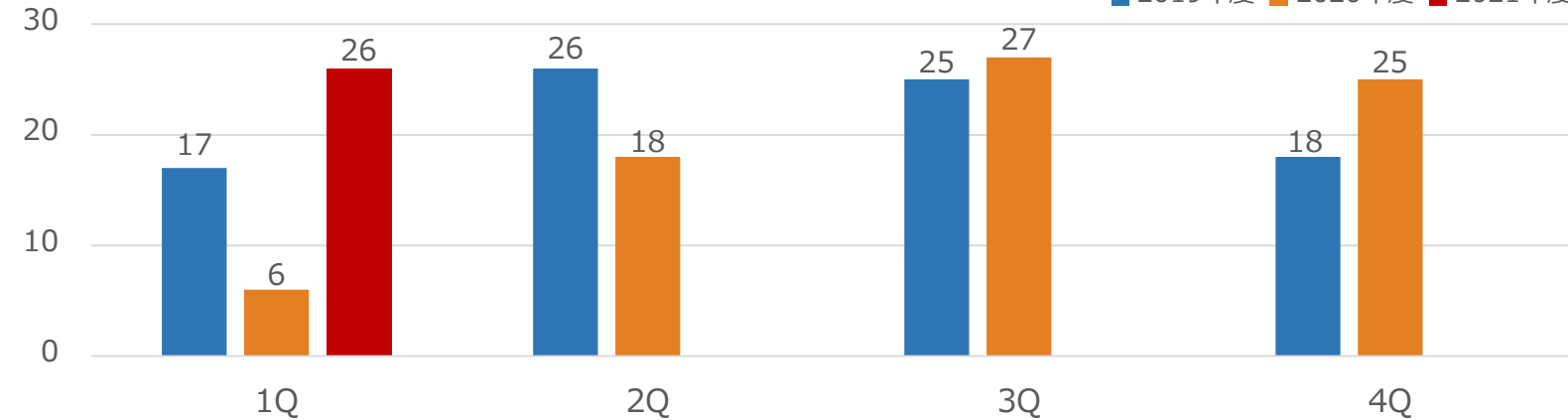
## 期末累計の売上高推移



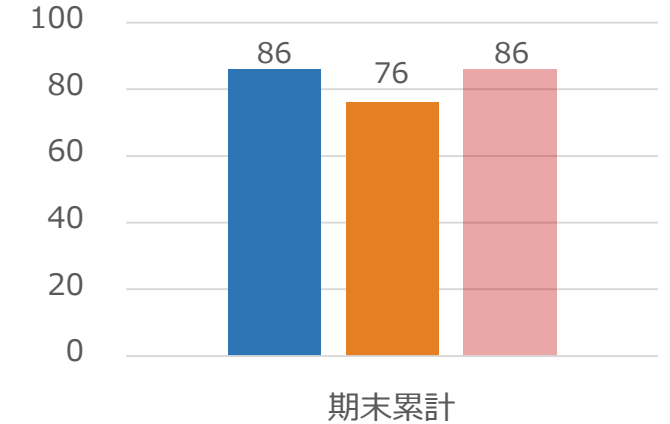
(単位：億円)

## 四半期毎の営業利益推移

■ 2019年度 ■ 2020年度 ■ 2021年度



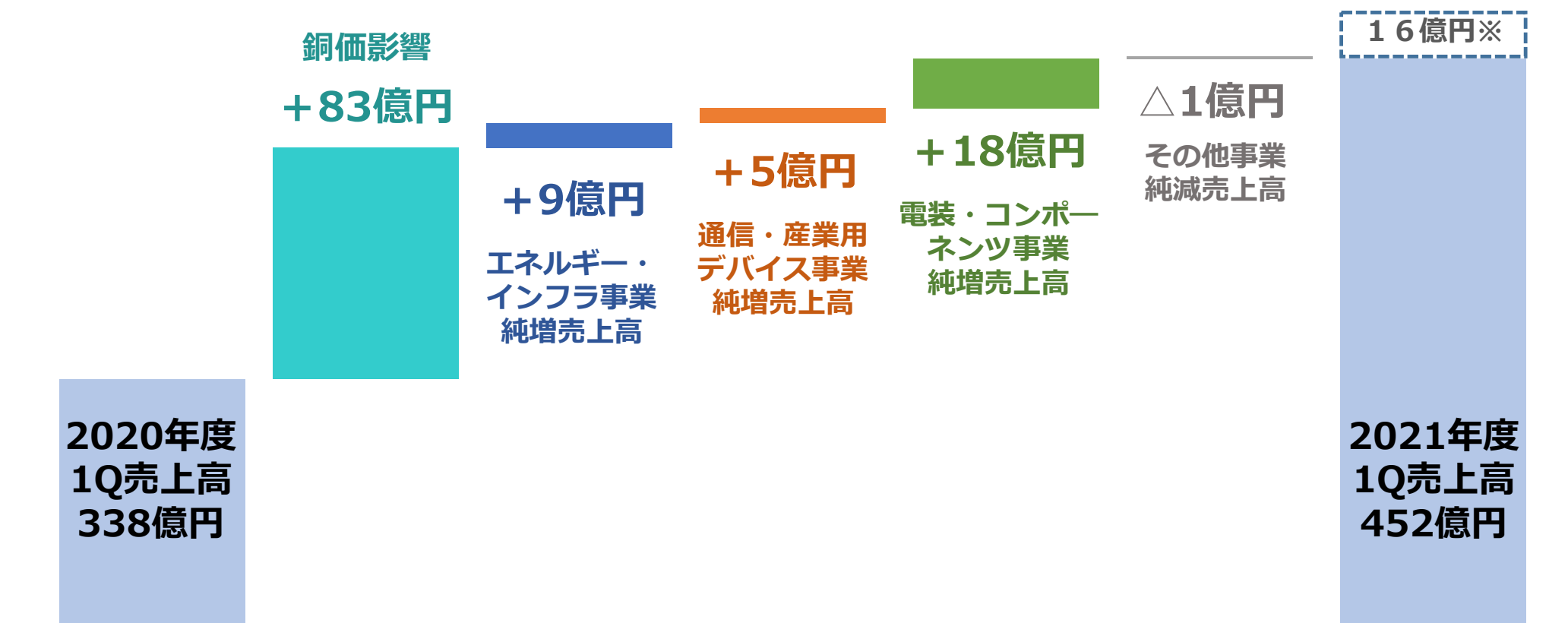
## 期末累計の営業利益推移



# 1Q売上高の増減要因

- 収益認識基準の適用があったものの、銅価の高止まりと各セグメントの純増売上高により、33.6%の増収となった。

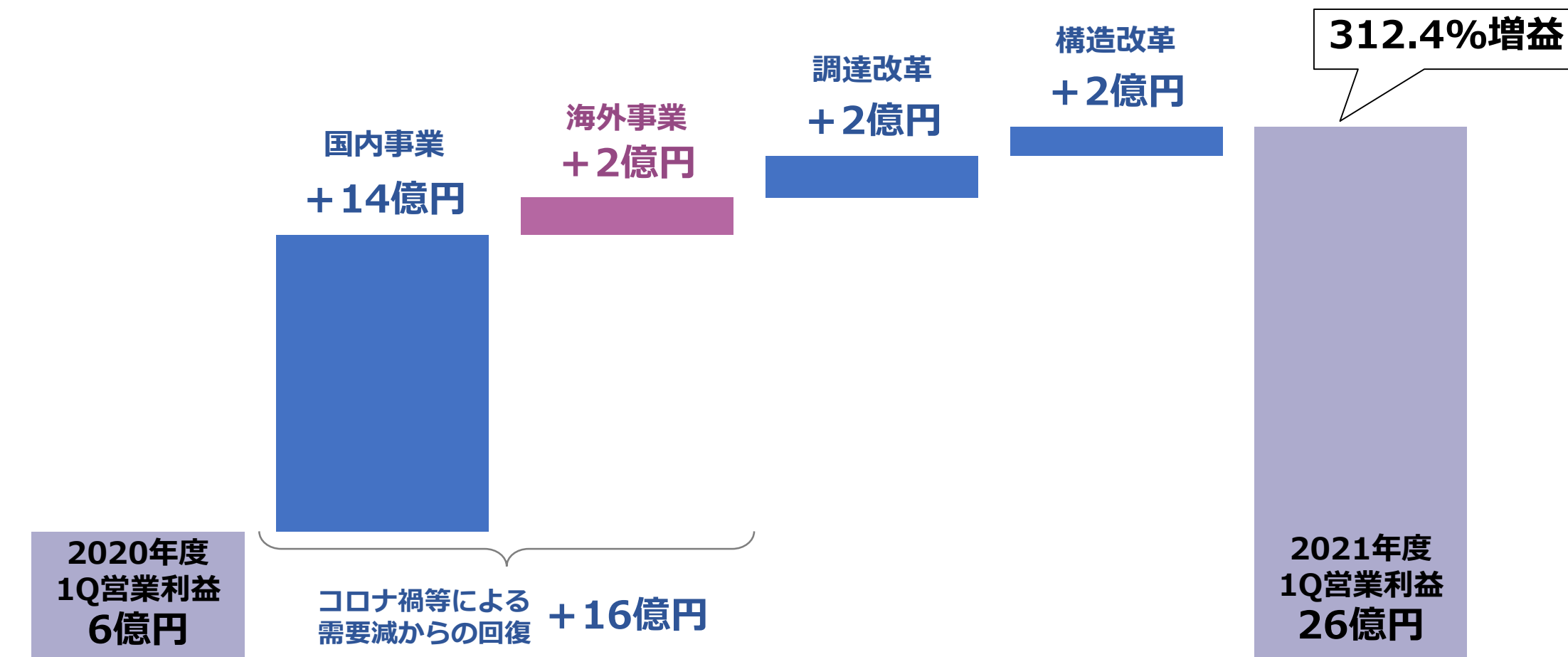
33.6%増収



※収益認識基準適用影響額

# 1Q営業利益の増減要因

- コロナ禍の影響を大きく受けた2020年度1Qから312.4%の増益となった。





# セグメント情報（3カ年推移）

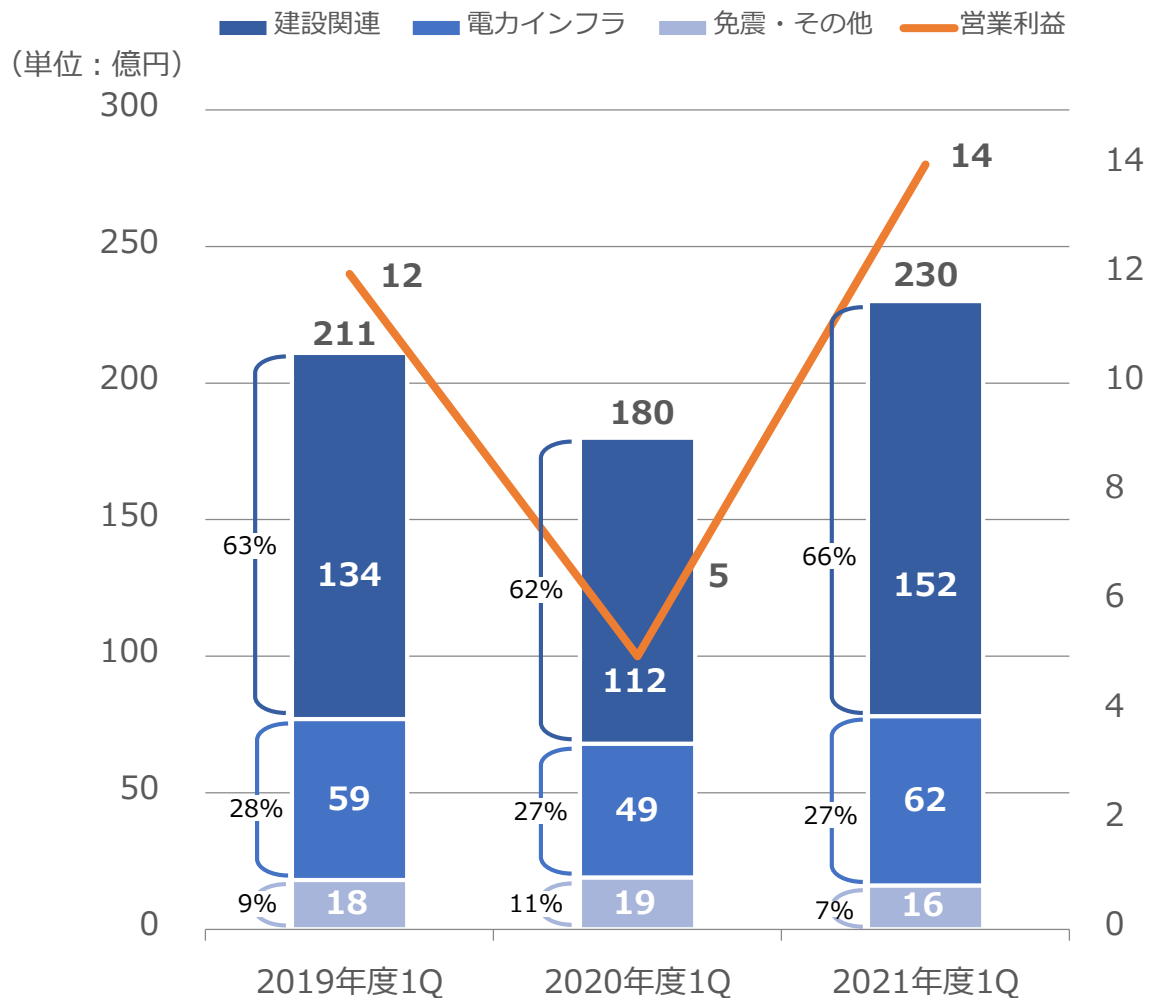
- ・ コロナ禍の影響は限定的。
- ・ 営業利益ではコロナ禍前の2019年度を上回る結果に。

(単位：億円)

	2019年度 1Q 実績		2020年度 1Q 実績		2021年度 1Q 実績	
	売上高	営業利益 (利益率%)	売上高	営業利益 (利益率%)	売上高	営業利益 (利益率%)
エネルギー ・インフラ	211	12 (5.6%)	180	5 (3.1%)	230	14 (6.3%)
通信・産業用 デバイス	76	5 (6.8%)	61	3 (4.4%)	69	5 (7.4%)
電装・ コンポーネンツ	132	1 (0.9%)	87	0 (0.4%)	143	8 (5.4%)
その他 (内新規事業)	11 (7)	△2 (△1)	10 (6)	△2 (△1)	9 (7)	△2 (△0)
合 計	430	17 (3.9%)	338	6 (1.8%)	452	26 (5.7%)

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年度第1四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

# エネルギー・インフラ事業 1Q業績



※2021年度第1四半期実績のみ新会計基準を適用しております

## 実績

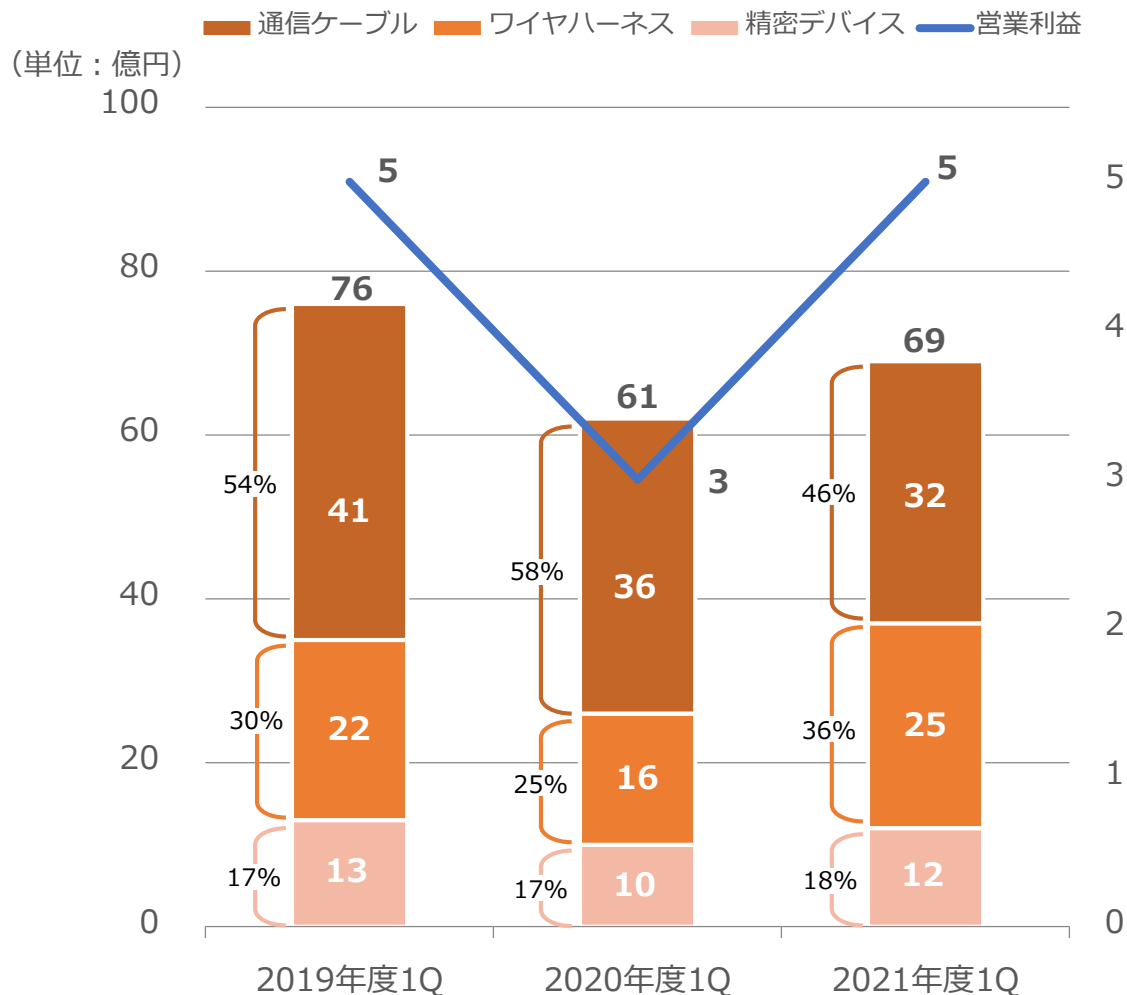
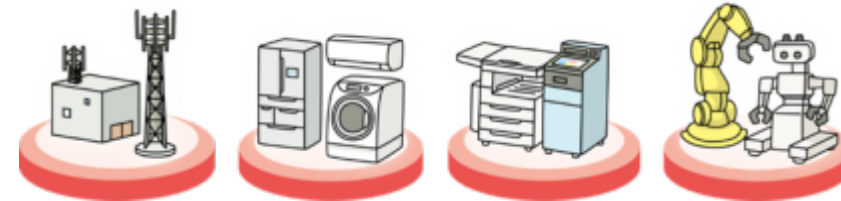
◆建設関連 汎用電線	建設関連需要が減少する中で、汎用電線は、大口案件向けの出荷を伸ばした。
◆免震・その他 免震装置、制振・防振	
◆電力インフラ 電力ケーブル、工事、 電力機器部品(SICONEX®)	電力強靱化・老朽化更新・再生可能エネルギー連系の需要が堅調に推移した。

## トピックス

7月6日プレスリリース	SICOPLUS™「施工人財開発センター」の設立
7月6日プレスリリース	フリーストリッピング外導CVケーブルの納入

# 通信・産業用デバイス事業

## 1Q業績



※2021年度第1四半期実績のみ新会計基準を適用しております

### 実績

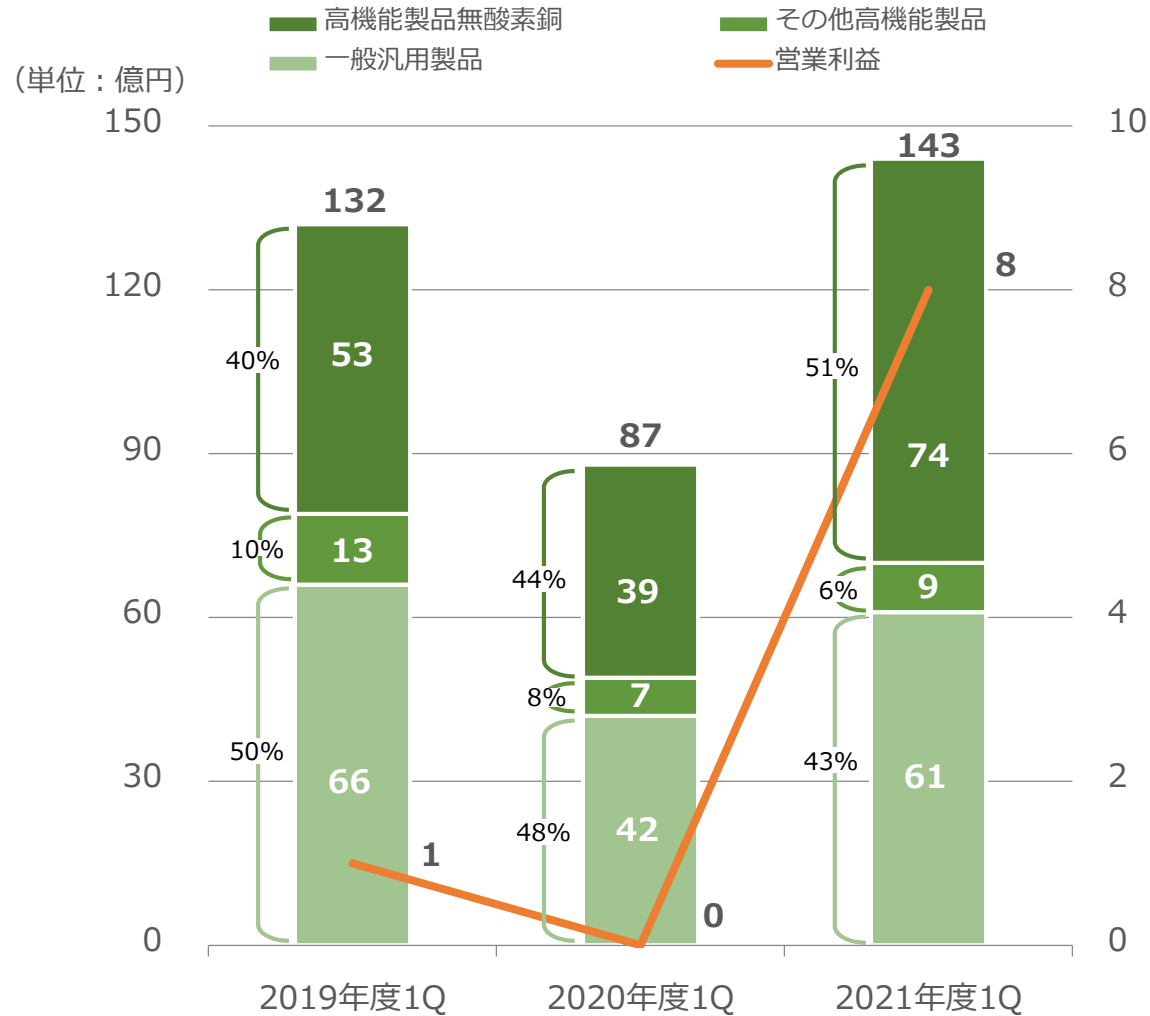
◆通信ケーブル(建設) メタルケーブル、光ケーブル LANケーブル	通信インフラの増強等による好要因があるものの、建設関連向けにおいては需要が減少した。
◆通信ケーブル(通信インフラ) メタルケーブル、光ケーブル	
◆ワイヤハーネス (家電・産業機器 他)	新型コロナウイルス感染症の影響による需要低迷から回復した。
◆精密デバイス (複写機 他)	

### トピックス

7月8日プレスリリース	Cat.6A LANケーブル改良品市場投入
-------------	-----------------------

# 電装・コンポーネンツ事業

# 1Q業績



※2021年度第1四半期実績のみ新会計基準を適用しております

## 実績

◆高機能製品無酸素銅(自動車、電子機器 他) 無酸素銅MiDIP®	自動車および電子部品向け高機能製品の需要が好調だった。
◆その他高機能製品(自動車、電子機器 他) 銅合金、高機能巻線	
◆一般汎用製品(電気機械 他) 汎用巻線	重電向け等の汎用巻線の需要低迷は継続した。

## トピックス

7月20日プレスリリース	カーボンニュートラルな都市ガスの導入
--------------	--------------------

# 貸借対照表（前期末比較）

・自己資本比率は36.3%（前期末比0.4ポイントダウン）

（単位：億円）

	21/3/31	21/6/30	増減
現金・預金	42	41	△0
受取手形・売掛金及び契約資産	439	462	+24
棚卸資産	215	247	+32
その他	57	61	+4
<b>流動資産 計</b>	<b>753</b>	<b>812</b>	<b>+59</b>
有形固定資産	397	402	+5
無形固定資産	14	13	△0
投資その他の資産	131	136	+5
<b>固定資産 計</b>	<b>542</b>	<b>551</b>	<b>+10</b>
<b>資産 合計</b>	<b>1,295</b>	<b>1,363</b>	<b>+69</b>

	21/3/31	21/6/30	増減
支払手形・買掛金	224	252	+29
短期借入金・社債	247	273	+27
その他	159	150	△9
<b>流動負債 計</b>	<b>629</b>	<b>676</b>	<b>+46</b>
長期借入金・社債	121	124	+3
その他	63	63	△0
<b>固定負債 計</b>	<b>184</b>	<b>186</b>	<b>+3</b>
<b>負債 合計</b>	<b>813</b>	<b>862</b>	<b>+49</b>
資本金	242	242	0
資本剰余金	57	57	0
利益剰余金	106	118	+12
その他	77	84	+8
<b>純資産 合計</b>	<b>482</b>	<b>501</b>	<b>+20</b>
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>1,295</b>	<b>1,363</b>	<b>+69</b>



Creating for the Future

昭和電線ホールディングス（株）  
（東証1部：5805）

2022/3期 通期業績計画

<https://www.swcc.co.jp>

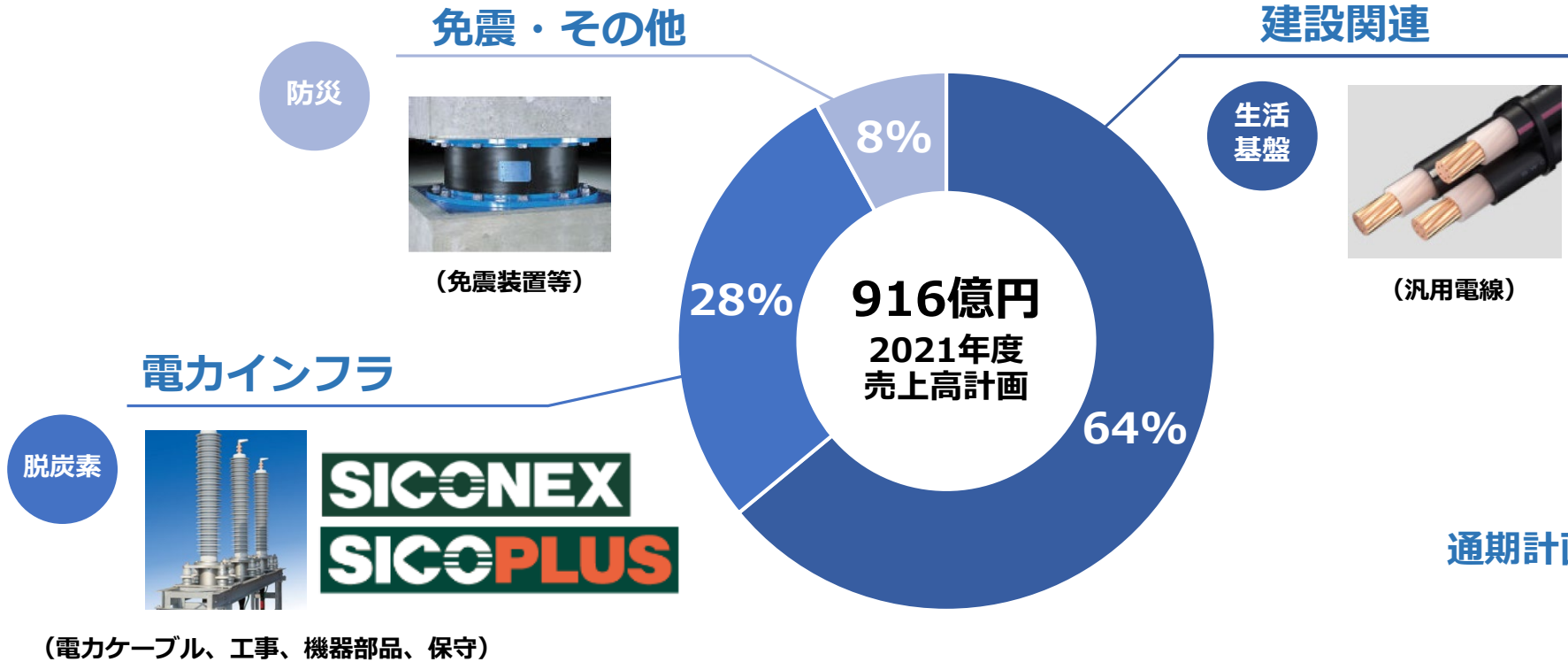
# 2022/3期：通期業績計画

- 2021年度業績はコロナ禍の影響が継続する懸念がありつつも、環境配慮型製品に関する需要等を取り込み、増収増益の計画。

(単位：億円)	2020年度 実績	構成 %	2021年度 計画	構成 %	増減額	増減率
売上高	1,617	—	1,800 (2,000)	—	+183	+11.3%
売上総利益	218	13.5%	—	—	—	—
営業利益	76	4.7%	86	4.8% (4.3%)	+10	+13.3%
経常利益	78	4.8%	83	4.6%	+5	+6.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	50	3.1%	68	3.8%	+18	+36.9%
配当金/配当性向	20円	12%	40円	18%	+20円	—

※2021年度計画につきましては、「収益認識に関する会計基準」を適用しております  
適用前売上高、営業利益率の数値は( )内に記載のとおりです

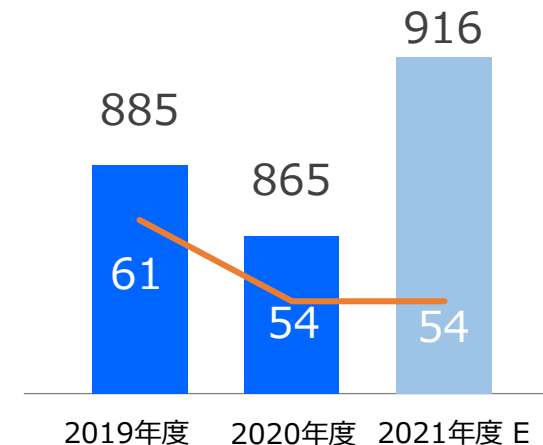
# エネルギー・インフラ事業の通期業績計画



### 関連するSDGs

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
11 住み続けられる まちづくりを	

通期計画(売上高/営業利益)



成長ドライバー

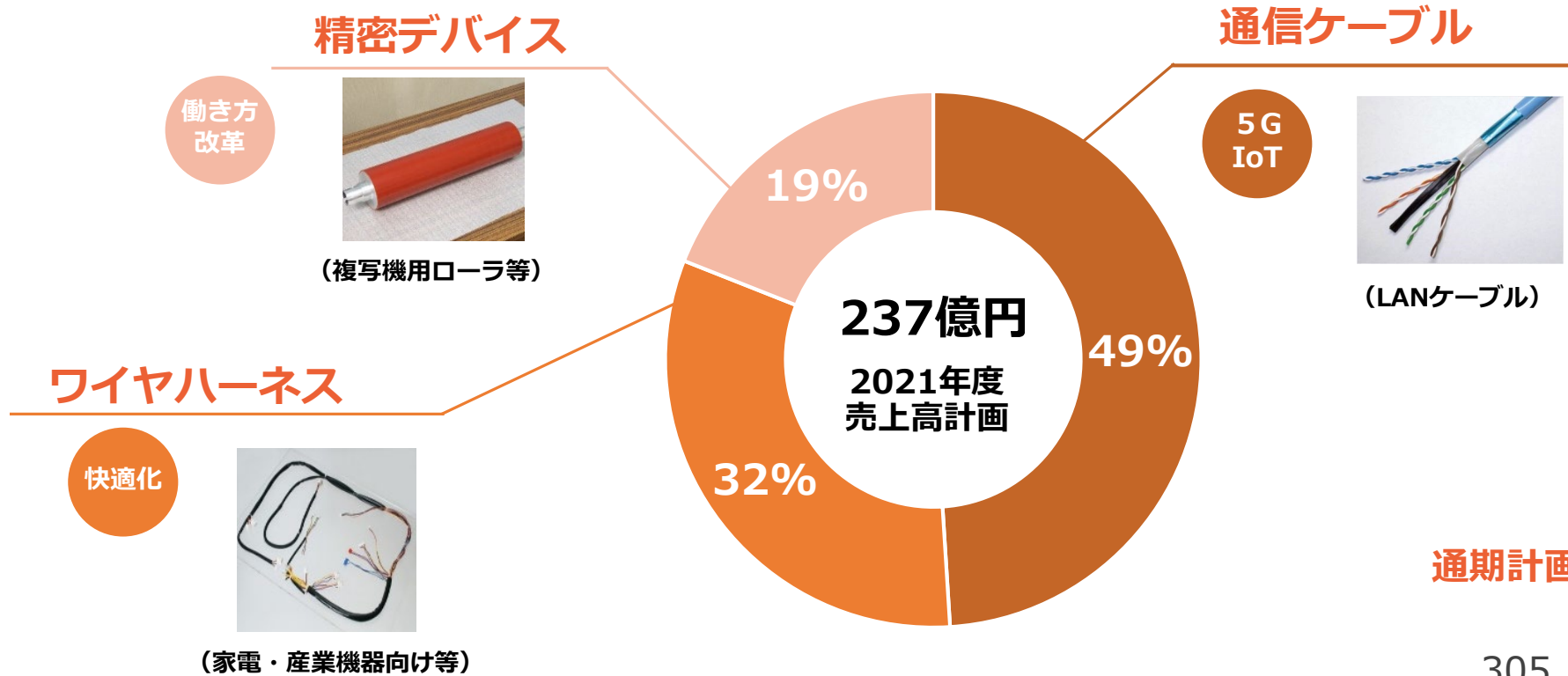
- ・ DX推進による建設関連収益力の強化
- ・ 再生可能エネルギー系統連系ビジネスモデルの強化
- ・ 環境貢献製品等、社会課題解決型製品の拡充

市場見通し

- ・ 少子高齢化による将来的な建設需要の減少
- ・ 再生可能エネルギー系統連系ビジネスチャンスの拡大



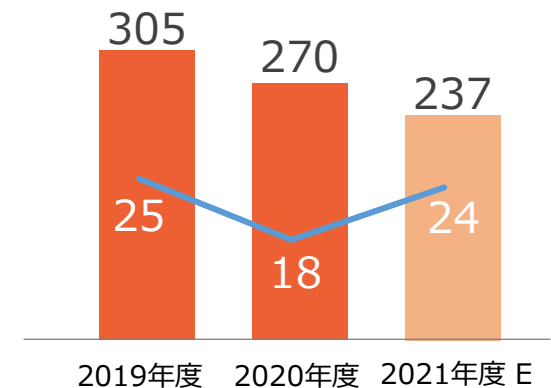
# 通信・産業用デバイス事業の通期業績計画



## 関連するSDGs



## 通期計画(売上高/営業利益)



### 成長ドライバー

- ・ 高速通信ケーブルの開発による新市場開拓
- ・ ワイヤハーネスの新体制始動と海外生産体制拡大
- ・ 精密デバイスの構造改革による地産地消の加速

### 市場見通し

- ・ 5Gサービス、CASE向け等の高速通信需要の拡大
- ・ Withコロナ時代におけるDX化の加速による市場拡大

# 電装・コンポーネンツ事業の通期業績計画

## 一般汎用製品

生活  
基盤



(汎用巻線)

(銅合金)



xEV化

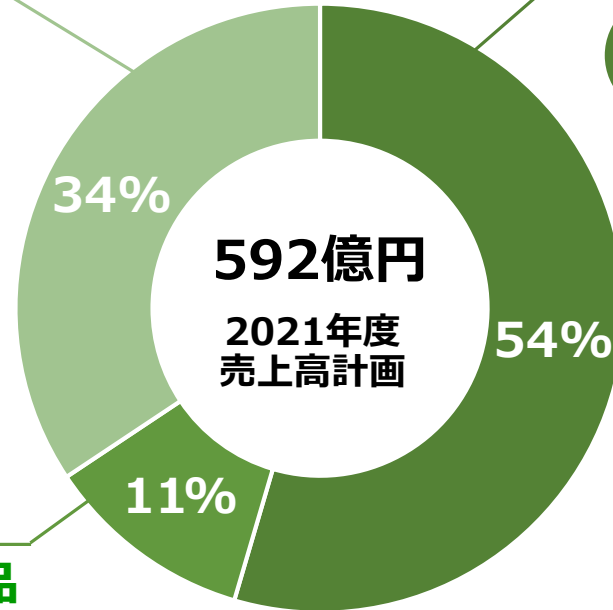
## その他高機能製品

## 高機能製品無酸素銅

xEV化



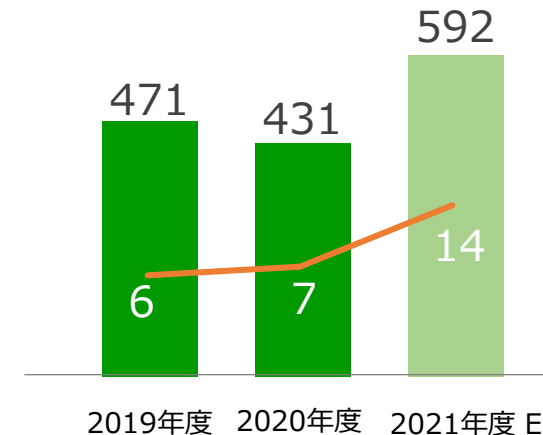
(無酸素銅MiDIP®)



## 関連するSDGs



## 通期計画(売上高/営業利益)



成長ドライバー

- ・ 車載向け高機能製品の生産体制増強による売上拡大
- ・ 電子部品用巻線生産体制の増強
- ・ CO<sub>2</sub>排出削減に向けた取り組みの強化

市場見通し

- ・ 環境配慮型自動車(xEV)への移行加速、高機能巻線の需要増
- ・ CO<sub>2</sub>排出削減効果の高い製品ニーズの高まり



Creating for the Future

昭和電線ホールディングス（株）  
（東証1部：5805）

中期経営計画  
「Change SWCC2022」進捗  
今後の展開について

<https://www.swcc.co.jp>

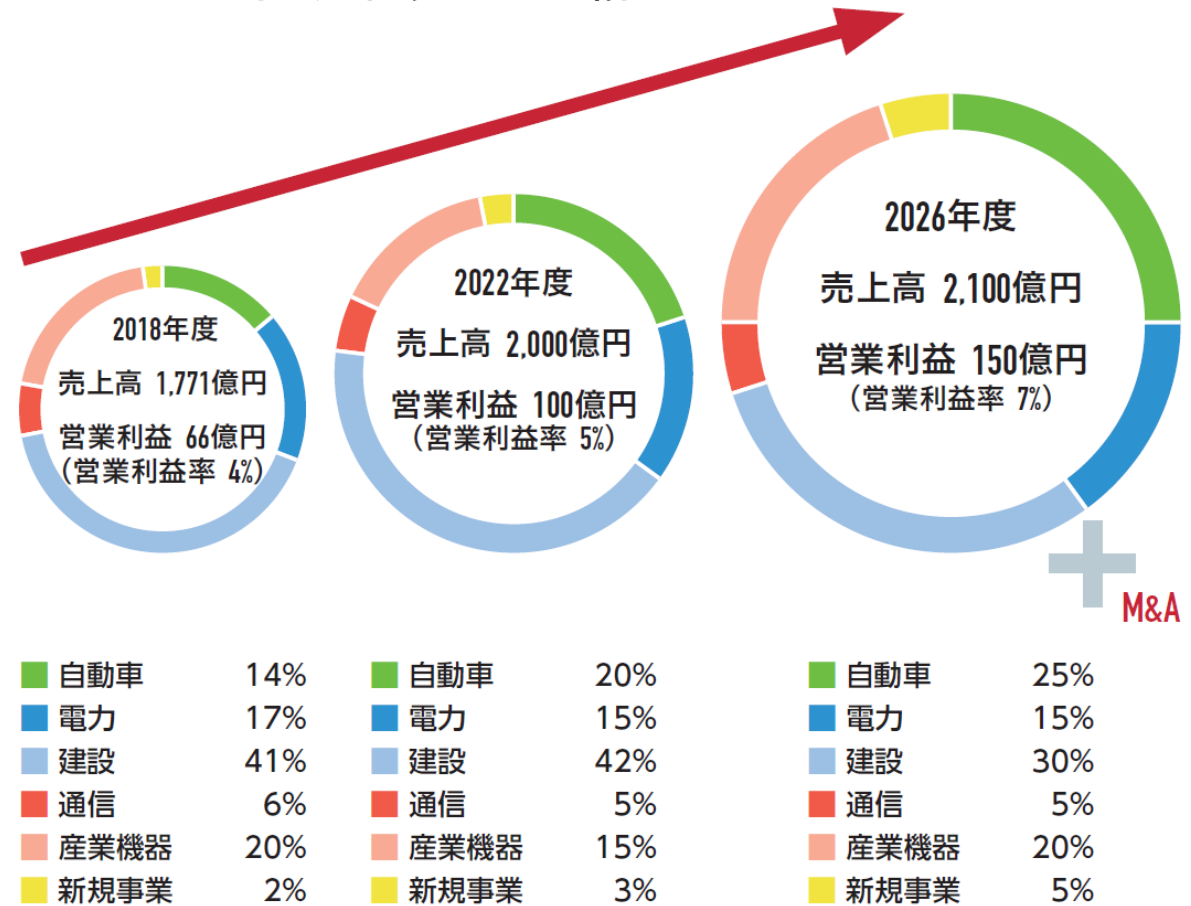
# 昭和電線VISION2026 & 目指す市場別売上構成



## Change SWCC2022



## ■ 目指す市場別売上構成



# 電力事業の市場拡大戦略

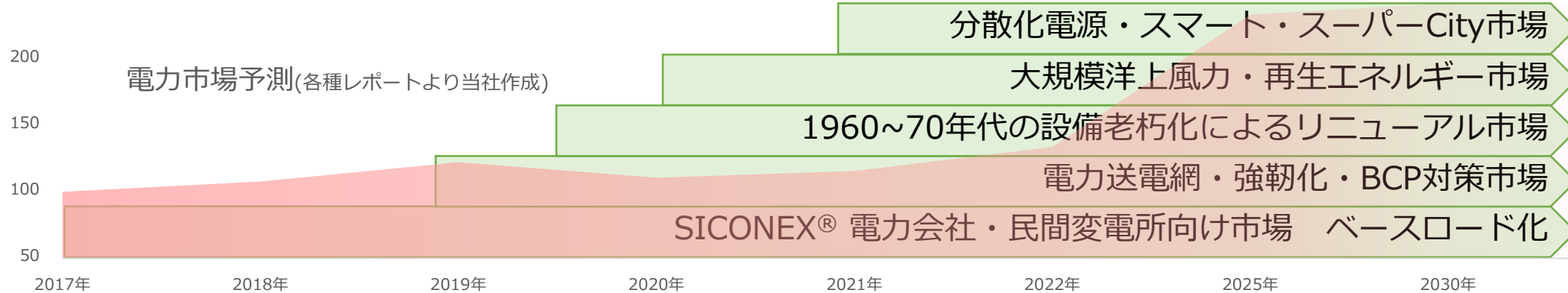
カーボンニュートラル推進

2017年～

2023年～

2026年～

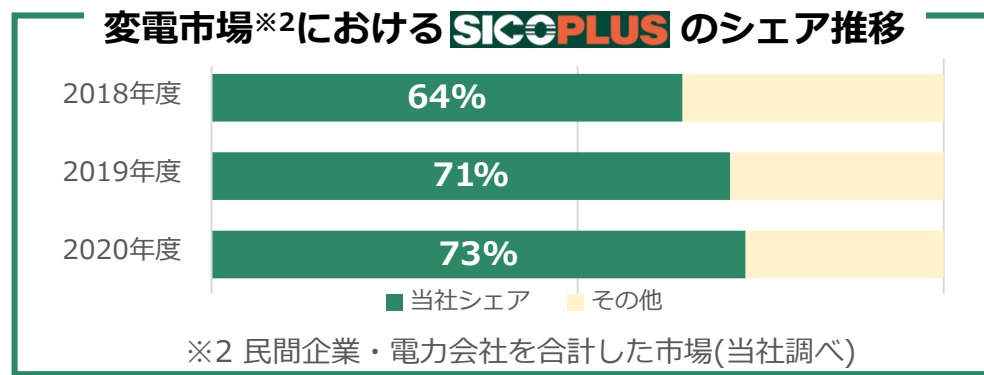
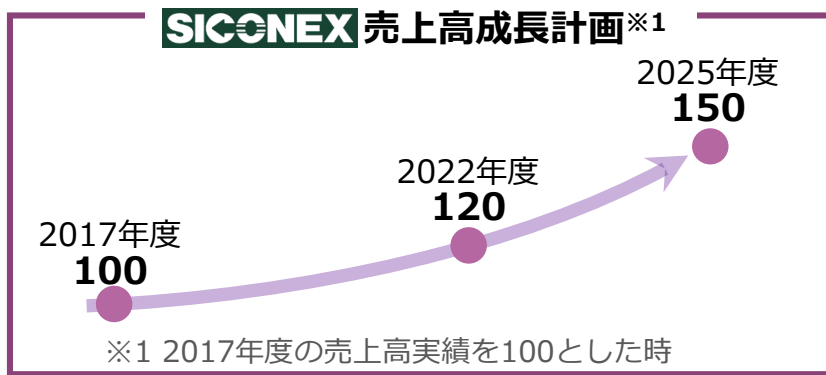
市場の拡大



戦略

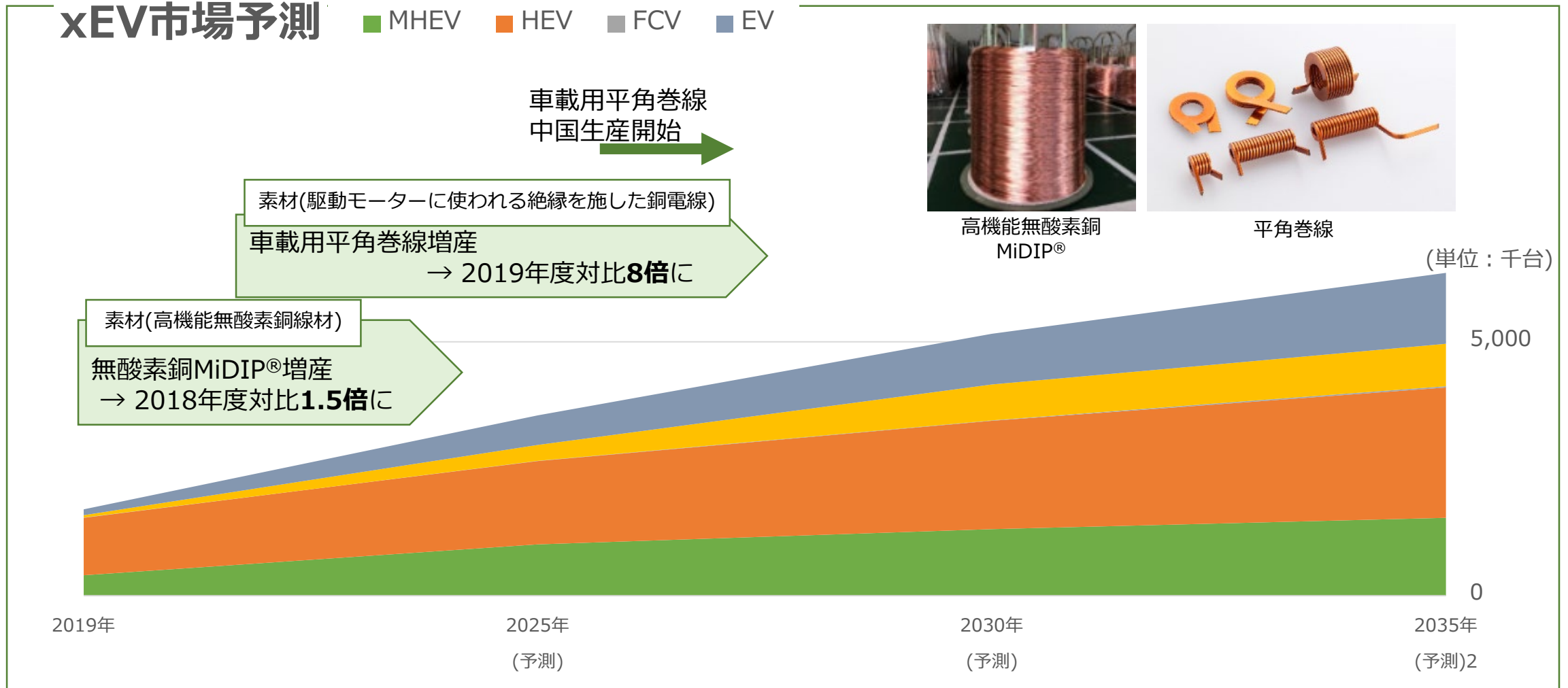


売上拡大

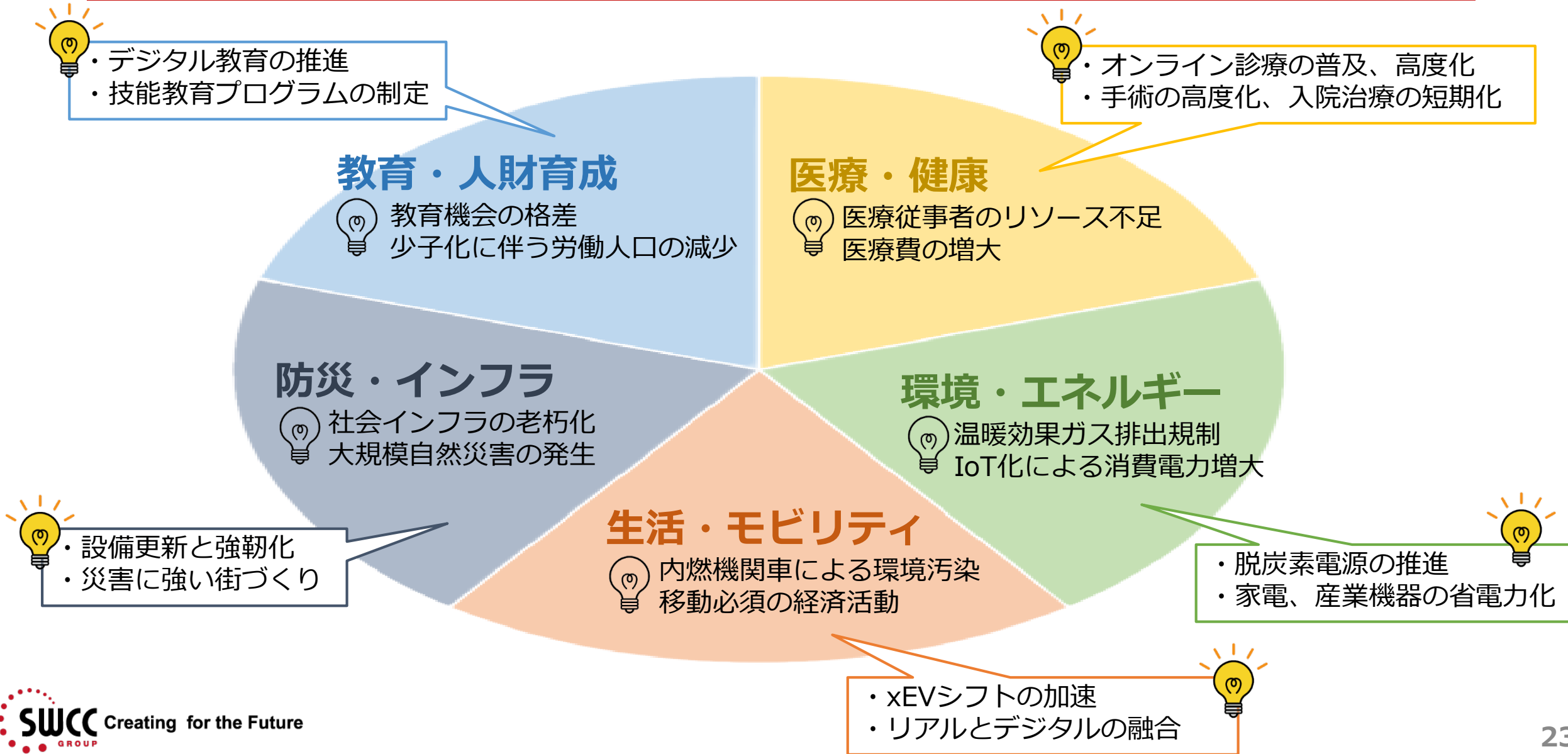


# xEV市場予測(国内)と車載向け製品の成長戦略

加速するxEV化市場に対して、電装・コンポーネンツ事業では製品の増産を推進

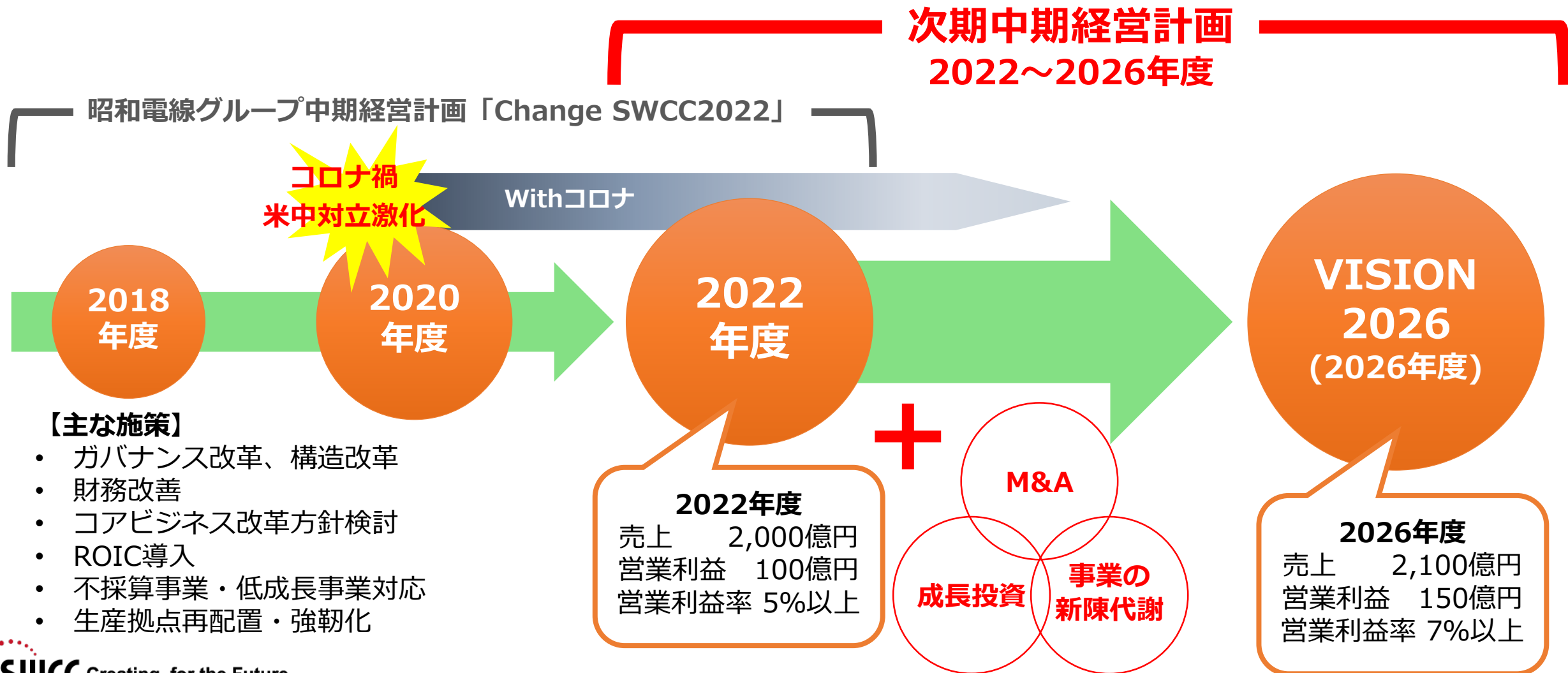


# 解決すべき社会課題への貢献（中計の視点）



# 次期中期経営計画の策定について

2021年11月の公表に向けて、次期中期経営計画の策定を進めております。





# 中期経営計画 数値目標 (KPI)

(単位：億円)	2020年度 実績	2021年度計画 (収益認識基準適用前)	2021年度計画 (収益認識基準適用後)	2022年度中期経営計画 (収益認識基準適用前)	VISION2026 (収益認識基準適用前)
売上高	1,617	2,000	1,800	2,000	2,100
営業利益	76	86	86	100	150
経常利益	78	83	83	95	150
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	68	68	66	100
営業利益率	4.7%	4.3%	4.8%	5%以上	7%以上
配当/配当性向	20円 (12%)	40円 (18%)	40円 (18%)	50円以上 (約20%)	120円以上 (約35%)
有利子負債	377	390	390	380以下	300以下
DEレシオ	79%	73%	73%	70%以下	40%以下
純資産	482	543	543	550以上	800以上
自己資本比率	36.7%	38.4%	38.4%	38%以上	50%以上
ROE	11.4%	13.5%	13.5%	10%以上	10%以上
ROIC	6.3%	6.7%	6.7%	7%以上	9%以上

※「収益認識に関する会計基準」適用により、当該基準適用後の当社グループの2022年3月期連結業績予想につきましては、「2021年度計画（収益認識基準適用後）」に記載のとおりです  
 ※DEレシオは自己資本で算出しております



## Appendix



Creating for the Future

昭和電線ホールディングス（株）  
（東証1部：5805）

<https://www.swcc.co.jp>

# 当社グループ製品の品質試験に関する不整合の判明と特別調査委員会の設置について

(2021.7.21プレスリリース)

当社子会社の昭和電線ケーブルシステム株式会社が過去に販売いたしました製品の一部について、お客様との間で定められた試験方法と異なる方法により試験を行っていた事実が判明し、7月21日付けで特別調査委員会を設置し、調査を進めることとしました。

本件につきましては、お客様をはじめ関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

対象製品は、鋼心アルミニウムより線および硬アルミニウムより線であり、本件製品は主として架空送電に用いられております。

なお、本件による業績への影響につきましては、現時点では不明ですが、業績予想に修正が必要な場合には改めて開示いたします。

時系列	当事会社	対応等
～2018年9月	昭和電線ケーブルシステム	お客様との間で定められた試験方法と異なる方法により試験を実施 (2018年9月、自主的にお客様との間で定められた試験方法に是正)
2021年2月	昭和電線ホールディングス 昭和電線ケーブルシステム	外部からの指摘により社内調査を行い、2018年9月までの本件不整合が判明 お客様へ本不整合に関し説明を実施 自社内の検証により品質に及ぼす影響がないことを確認。併せて独立した第三者機関による健全性検証も確認
2021年7月	昭和電線ホールディングス	外部の専門家である弁護士を委員長とする特別調査委員会を設置、より客観的な実態調査を開始

# カーボンニュートラルな都市ガスの導入 (2021.7.20プレスリリース)

昭和電線グループ三重事業所で利用する都市ガスの一部を東邦ガス(株)が提供するカーボンニュートラルな都市ガス※に転換することを決定。  
2021年10月から5年間の契約で、当該事業所の燃料由来のCO<sub>2</sub>排出量約30%に相当する約1.3万トンの削減に貢献。

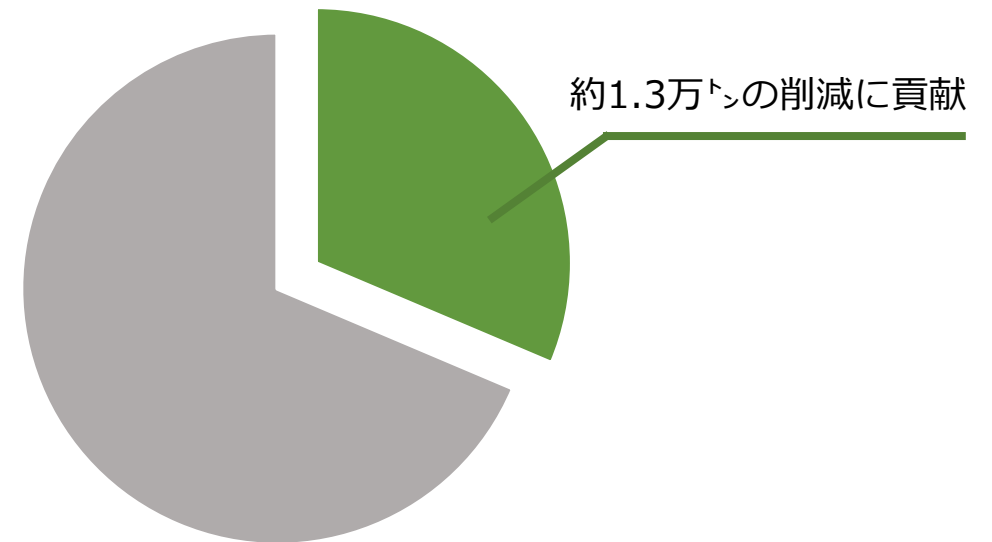
カーボンニュートラルな都市ガスを導入する  
三重事業所



【主な製造製品】

- ・ MiDIP®
- ・ 裸線
- ・ 汎用電線
- ・ 巻線

5年間のCO<sub>2</sub>排出量と削減量

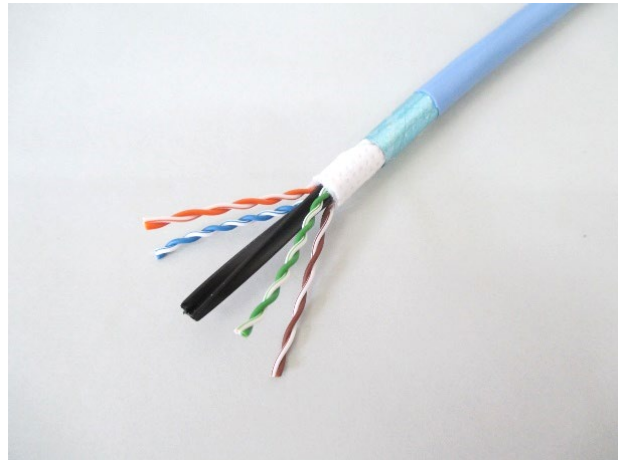


※カーボンニュートラルな都市ガス


東邦ガスが三菱商事株式会社の100%子会社であるダイヤモンド・ガス・インターナショナル社から購入したカーボンニュートラルLNGを活用したもので、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生するCO<sub>2</sub>がCO<sub>2</sub>クレジットで相殺（カーボンオフセット）されます。

# Cat.6A LANケーブル改良品市場投入 (2021.7.8プレスリリース)

可とう性（やわらかさ）を従来製品比約1.8倍にしたLANケーブルの改良品を開発。施工時の作業効率向上に大きく貢献するだけでなく、梱包箱を小型軽量化し、輸送時のCO<sub>2</sub>排出削減による環境負荷軽減も実現。



TPCC® 6A(10Gigaコイル)

	項目	従来品	改良品
ケーブル	仕上外径(約mm)	7.7	7.5
	概算質量(kg/km)	53	47
梱包箱	奥行×高さ×横(mm)	 500×480×276	 450×430×270

# 女性活躍推進プロジェクト始動 (2021.8.2プレスリリース)

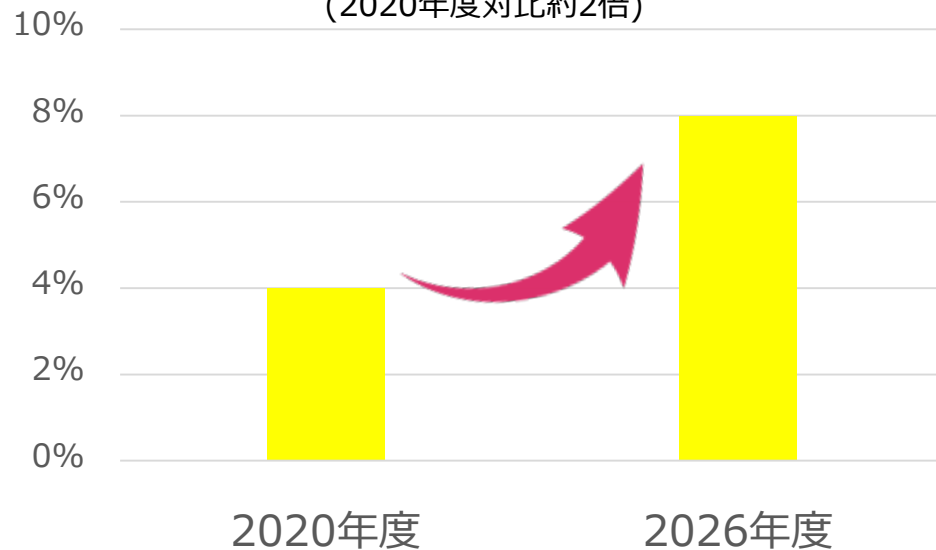
当社は経団連が掲げる「2030年までに役員に占める女性比率を30%以上にすること」を目的とした「2030年30%へのチャレンジ」への賛同を表明。社長直轄プロジェクトとして「女性活躍推進プロジェクト」を発足し以下の目標を設定いたしました。



#HereWeGo203030

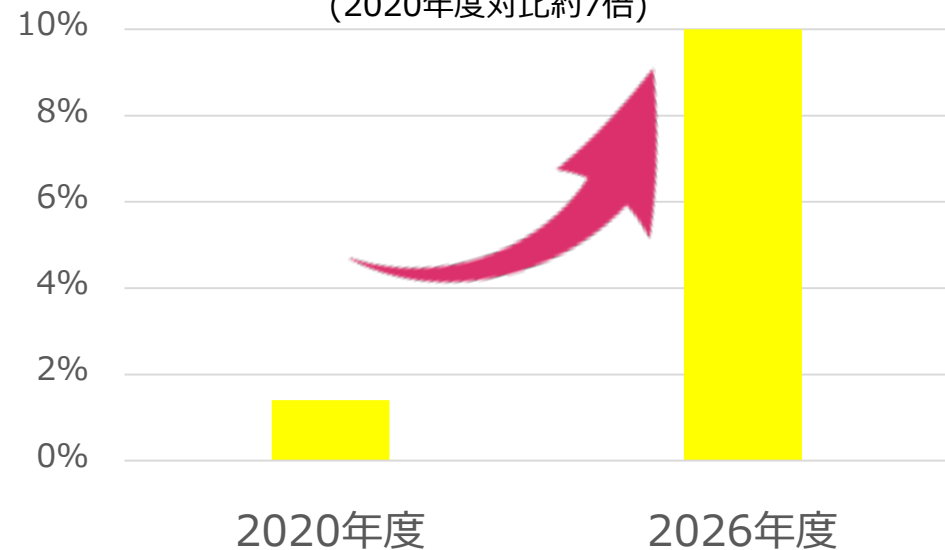
2026年度までに女性管理職割合を**8%**に

(2020年度対比約2倍)



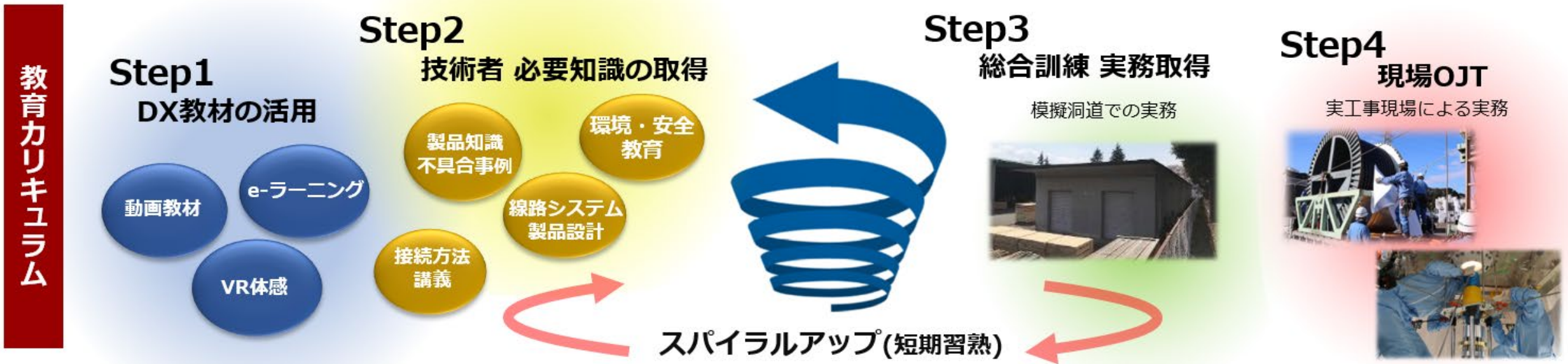
2026年度までに女性管理職(課長職以上)割合を**10%**に

(2020年度対比約7倍)



# SICOPLUS™ 「施工人財開発センター」の設立 (2021.7.6プレスリリース)

「施工人財開発センター」はSICOPLUS™における接続技能士教育プログラムの作成や遂行を目的として、施工部隊の育成経験を持つセンター長の下、部品・ケーブル・施工のエキスパートが中心メンバーとなって設立。



## SICOPLUS

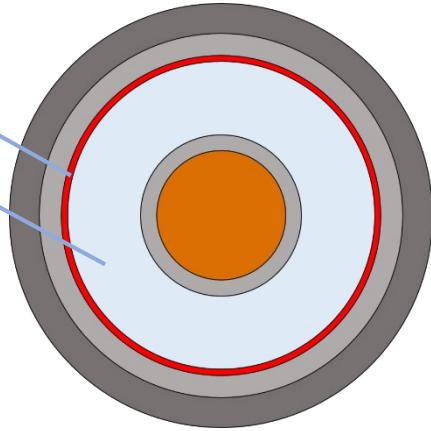
本センターの所在地は、「SICONEX®」の製造工場がある相模原事業所内。今後、同敷地内に、実現場の環境を模擬した総合訓練所を設立予定。

# フリーストリッピング外導CVケーブルの採用 (2021.7.6プレスリリース)

外導(外部半導電層)

絶縁体

ケーブル断面図の例



**SICOPLUS**

フリーストリッピングケーブルの採用により、電力ケーブル接続工事における**スキルレス化**や現場作業の**省力化**を実現。

## 従来の工事

絶縁体に一体化された外導(図の赤い部分)を、ガラス等の鋭利な工具で真円に削る(高度なスキル)  
→削り屑が出るため、作業時の養生が必要



## フリーストリッピングケーブルによる工事

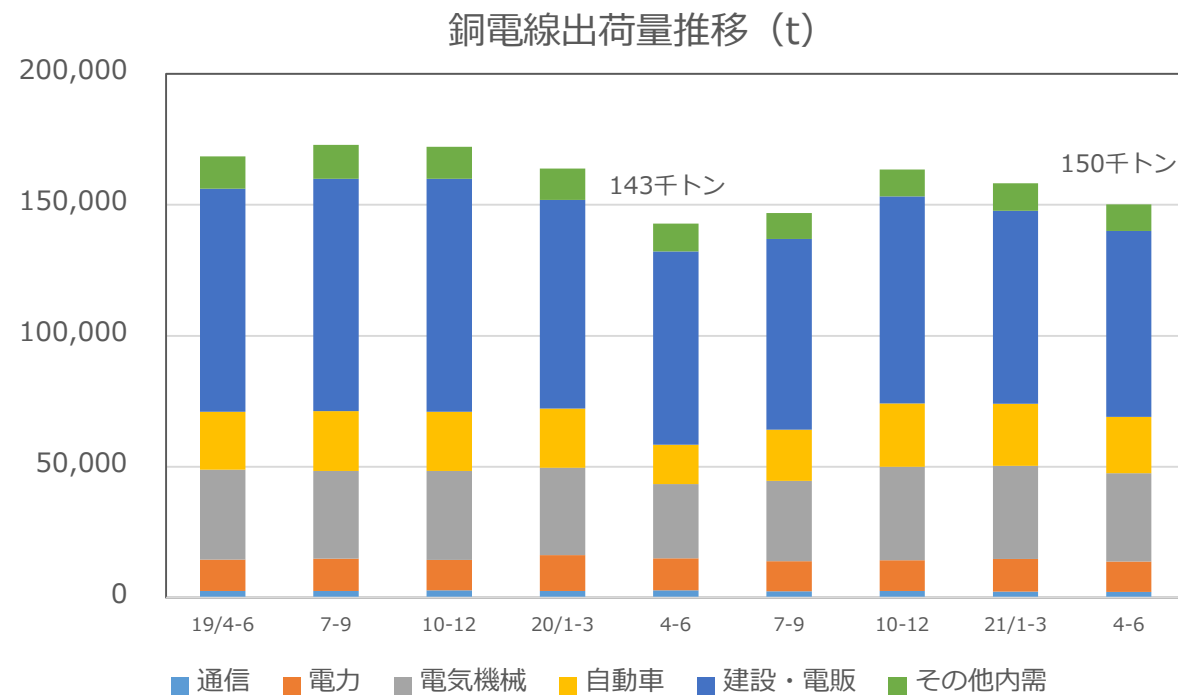
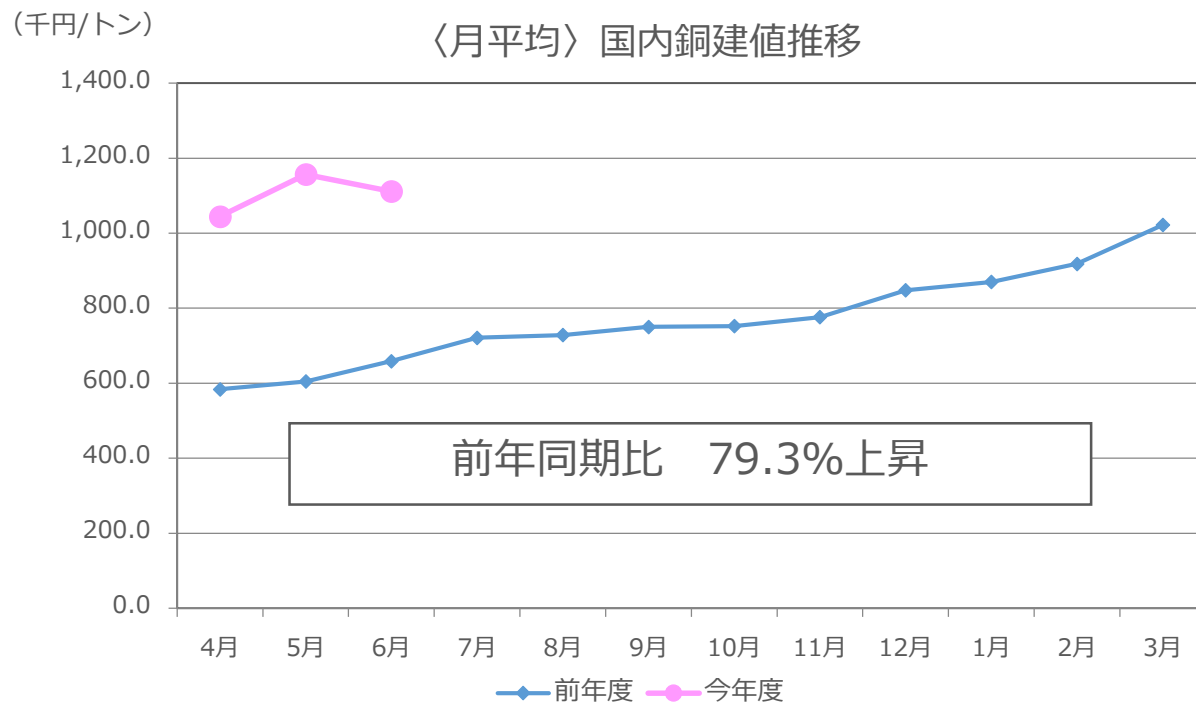
専用の工具で外導(図の赤い部分)に切り取り線を入れ、手で剥ぎ取るだけ(スキルレス化)  
→削り屑が出ないため、現場作業が省力化





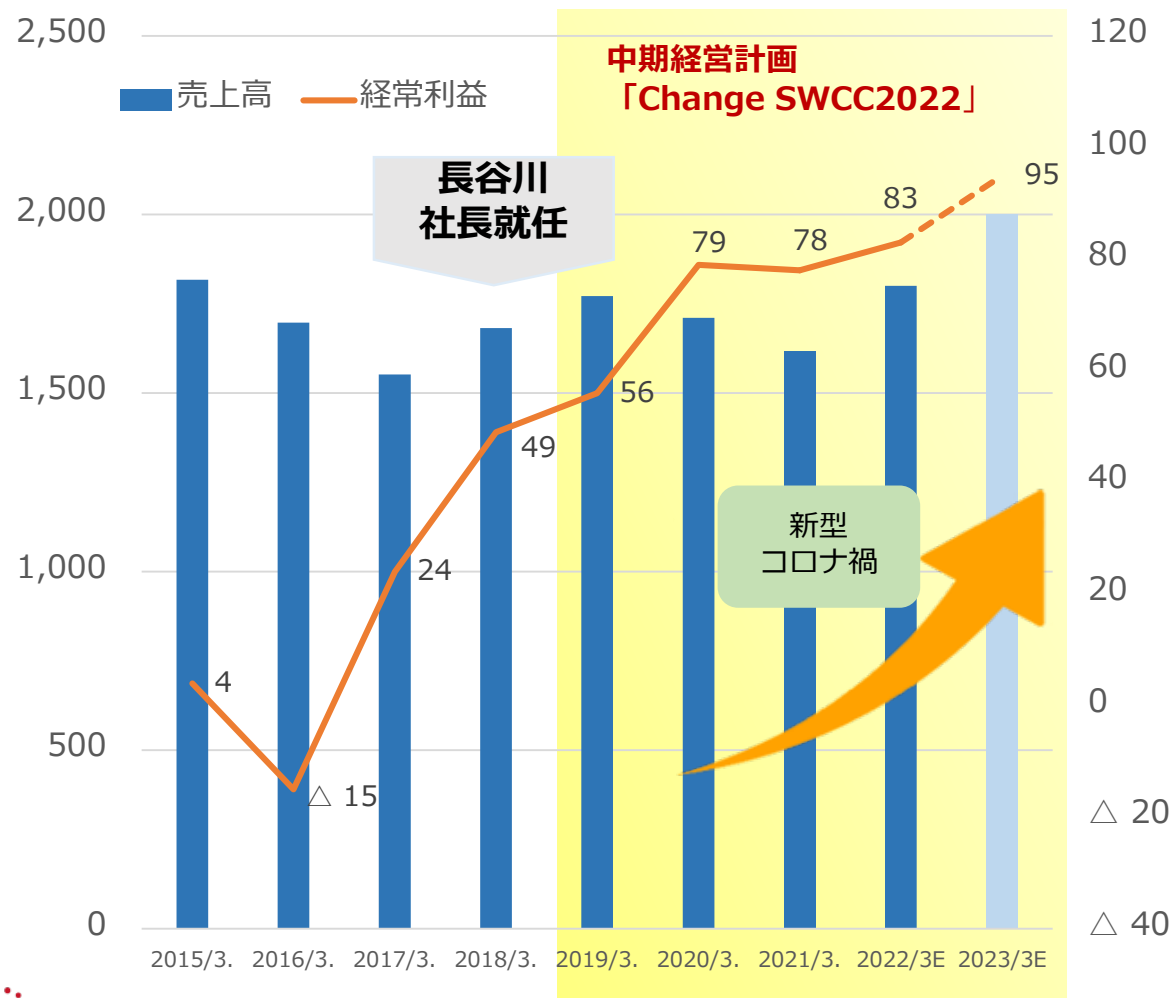
# 国内銅建値／銅電線出荷量の推移

- 国内銅建値は、中国の景気回復もあり上昇傾向が継続。
- 国内の銅電線出荷量は、建設・電販の回復は弱いものの電気機械・自動車を中心に回復基調。(前年度比5%増)



# 継続した構造改革の推進

(単位：億円)



- 2017年12月:本店を港区虎ノ門から川崎市川崎区に移転
- 2018年 6月:社長に**長谷川が就任**。

## 中期経営計画「Change SWCC2022」推進

- 2018年12月:指名委員会・報酬委員会を設置
- 2019年 4月:コーポレートガバナンス体制の見直し  
事業セグメント変更、執行役員制度の強化
- 2019年 6月:監査等委員会設置会社へ移行
- 2019年10月:昭和電線ユニマックを完全子会社化
- 2019年11月:**中計のローリングプラン公表**
- 2020年 4月:昭和電線ユニマックが多摩川電線を吸収合併
- 2020年 4月:古河電気工業とのJV販社SFCC営業開始
- 2020年 4月:人事制度改革 (新人事制度導入)
- 2020年 6月:ゴム線事業売却・譲渡契約の締結
- 2020年 9月:ダイジ解散 (岡山・山形工場閉鎖)
- 2021年 4月:制振制音事業を昭和サイエンスに集約
- 2021年 7月:ロジス・ワークスが昭和リサイクルを吸収合併
- 2021年12月:通信ケーブル拠点再編による青森昭和電線解散
- 2021年12月:中国嘉興市ワイヤハーネス新工場稼働
- 2022年 3月:通信ケーブル事業構造改革完了
- 2022年 3月:昭和電線ケーブルシステム 海老名工場売却



Creating for the Future

**昭和電線ホールディングス（株）**  
**（東証1部：5805）**

### **お問合せ先**

昭和電線ホールディングス（株）  
経営戦略企画部 戦略課  
TEL：044-223-0520  
E-mail：kouho@hd.swcc.co.jp

<https://www.swcc.co.jp>



本説明資料に記載されている将来の業績予測値は、公表時点で入手可能な情報に基づいており、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。

このため、実際の業績は、さまざまな要素により、記載された予測値と大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与える要素としては、経済情勢、需要動向、原材料価格・為替の変動などが含まれます。なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。